

# 東まっしほ シルバーだより

第17号

平成28年1月15日発行

発行所 (公社)東松島市シルバー人材センター編集委員会  
宮城県東松島市小野字新宮前5番地  
TEL.0225(86)1097 FAX.0225(86)1277



いざ出動！ 草刈班はいつも元気です！

謹賀新年

理事長 齋藤 壽朗  
副理事長 伊藤 隆  
理事 菊地 良大  
理事 松浦 正義  
理事 紺野 聖二  
理事 佐藤 いよ子  
理事 嶋田 和義  
理事 伊藤 宏  
理事 尾形 俊文  
理事 佐々木 善吾  
理事 大崎 よう子  
監事 佐々木 義美  
監事 門屋 征八郎  
常務理事兼 事務局長 奥田 俊郎  
総務係長 沼倉 ひろ子  
業務係 齊藤 二三代  
業務係 及川 洋平

新しい年を迎え  
本年もよろしく  
お願い申し上げます

平成二十八年元旦

# 新年のごあいさつ



理事長 齋藤 壽朗

明けまして、おめでとう  
ございます。

皆様方には、ご家族お揃い  
でお健やかに初春を迎え  
られたことと心からお慶び  
申し上げます。

日頃、当センターの事業、  
諸行事等にご理解、ご協力  
を頂き感謝申し上げます。

さて、早いもので東日本  
大震災の発生から四年九ヶ  
月が経過いたしました。東  
松島市においては、市当局  
始め関係皆様方のご尽力に  
より、災害公営住宅も各地  
区で完成し入居が進み、被  
災された方々の移転先の土  
地の造成も進んできており、  
すでに住宅の建設も行われ  
ている地域もあります。更  
に仙石線も全線で再開とな  
り、復興に向けて着実に歩  
みを進めております。

当シルバー人材センター  
においては、震災後の厳し  
い環境を乗り越え、会員、  
役員が一丸となって取り  
組んできた結果、契約金額  
が平成二十四年度から三年

連続で一億円を超え、二十  
六年度においては創設以来  
最高額となりました。本年  
度においても非常に良い事  
業実績となっており、二十  
六年度を上回る見込みとなつ  
ております。これもひとえ  
に会員の皆様の頑張り、  
関係皆様方のご支援のたま  
ものと思っております。

また、当シルバー人材セ  
ンターの事業目的にご理解  
とご賛同をいただき、賛助  
会員として市内の十九の企  
業・団体の皆様にご入会い  
ただきましたこと、心から  
感謝を申し上げます。今後  
も引き続き、ご指導、ご鞭  
撻を賜ります様、よろしく  
お願い申し上げます。

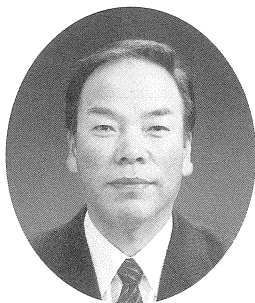
公益社団法人として四年  
目を迎え、公益性の高い団  
体として、社会的にも高い  
信頼が得られるように、セ  
ンターの基本理念である  
「自主・自立・共働・共助」  
を再認識し、会員による自  
主的・主体的活動を推進し  
てまいります。

近年の超高齢化社会、人  
口減少化の下で、高齢者  
が長年培った経験、能力を  
活かして、地域社会の一員  
として、健康で元気に活動  
していただくために、今後  
も積極的に入会を促進して  
まいります。

また、本年度において、  
センターの目的でもある、  
会員の生きがいの充実と福  
祉の増進を図るために、互  
助会を再設立いたしました。  
伊藤隆互助会会長を中心  
に活動していただいております  
が、残念ながら入会率が  
六十％に満たない状況です。  
会員の皆様も趣旨に賛同さ  
れまして、二十八年度には  
全会員が入会されますよう  
にお願い申し上げます。

東松島市においては、東

# 年頭のご挨拶



東松島市長 阿部 秀保

平成二十八年の新年を迎  
えるにあたり、謹んで新年  
のご挨拶を申し上げます。

市政及び東日本大震災か  
らの復興にご支援とご協力  
を賜り厚く御礼を申し上げ  
ます。

また、日頃より貴シルバー  
人材センターにおかれまし  
ては、「就業の場の確保」、  
「生きがいの充実」、「社会参  
加の推進」を旨指して施策  
を実施されており、さらに

日本大震災の、復旧・復興  
に多額の財政負担が伴い、  
非常に厳しい財政状況の中、  
変わらぬ支援を賜り厚く御  
礼を申し上げます。

市当局のご支援に対しま  
して、当シルバー人材セン  
ターとしてはこれまで以上  
に「就業の場の確保」、「生  
きがいの充実」、「社会参加  
の推進」を旨指し、会員の  
知識、経験、技能等を生か  
しながら、積極的に施策を  
展開し、地域の活性化に一

震災後には、震災により職  
を失った高齢者の方々や、  
震災関連事業が終了し職を  
失った高齢者の方々へ就  
業の場を提供していただく  
など、生きがいの充実と健  
康・福祉の増進にご尽力賜  
り感謝の意を表します。

さて、東松島市の高齢化  
率は二五・九％に達してお  
ります。今後も少子高齢化  
は加速し、だれも経験した  
ことのない超高齢化社会に  
なると見込まれます。この  
ような状況に対応するため  
には、皆様のような長い職  
業生活で培われた知識、能  
力、経験が求められており  
ます。今後も貴センター会  
員の皆様健康で元気に就  
業し、ご活躍されることを  
ご期待申し上げます。

定の役割を果たしてまいり  
たいと考えております。  
役員を始め、会員の皆  
様方と一丸となってシルバー  
事業を推進してまいりたい  
と考えておりますので、よ  
ろしくお願いを申し上げます。  
終わりに、会員の皆様方  
を始めご家族の皆様が、  
ご健康で良い一年でありま  
すよう、ご祈念を申し上げ  
まして新年のあいさつと致  
します。

震災から四年九ヶ月が経  
過しました。昨年は、待望  
であった仙石線が全線で再  
開し、防災集団移転団地七  
団地七十七戸のうち四三九  
区画の宅地引渡しや災害公  
営住宅の全一、〇一〇戸のう  
ち六〇四戸が完成し、入居  
が開始されるなど住宅の再  
建が進み、復興が実感でき  
るようになってまいりました。

今年、第二次総合計画  
がスタートする年でもあり  
ます。多くの課題もあり、  
復興までは道半ばですが、  
未来のまちづくりのあり方  
を具現化するような創造的  
復興を旨指し、さらに加速  
して事業を推進してまいり  
ますので、ご支援・ご協力  
を賜りますようお願い申し  
上げます。  
結びに、皆様のご健勝と  
ご多幸を心からお祈り申し  
上げまして年頭のご挨拶と  
いたします。

# 新年を迎えて

安全・適正就業委員長 菊地良大



転倒等危険と思われる箇所には、目印等の物で表示する。

更に冬季の転倒防止対策には、一、天気予報に気を配る。二、時間に余裕を持つての作業。三、積雪・凍結には、滑りにくい履物で安全確実な足場での作業、等々です。

尚、複数の人数での作業には、ミーティング時に危険箇所の確認並びに健康状態は良いかの確認を、また、作業前に声を出しながら指差喚呼を実践すると共に、就業中危険があるかないかの予測をしながら作業をすることににより事故が回避できる云々等々でした。何にしても、会員方々が事故に遭遇せず健康で過ごされますことを御祈念申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。さて、昨年は事故らしい事故もなく役員一同喜びに堪えませんが、安全安心を旗印にして行きたいと思っております。昨年の県シ連安全就業推進大会が開催された際、宮城労働局労働衛生専門官より「労働災害について」の講演があり、有意義な内容でしたのでご紹介致します。まず、事故全体中多いのが「転倒・墜落・転落」で全体の半分強を占めるとのことです。防止対策には、一、作業場所には物を置かない。二、足場が悪い位置は念には念を。三、時間に余裕を持って行動する。四、作業に適した靴の着用。五、

# 安全就業推進者の表彰



平成27年1月20日 菊地良大さん表彰

平成二十七年一月二十日、宮城県シルバー人材センター「平成二十六年度安全就業推進大会」がホテル白萩において開催され、安全就業貢献者として、理事菊地良大さんが表彰されました。同じく、十月二十一日に、宮城県シルバー人材センター「平成二十七年安全就業推進大会」が開催され、安全就業貢献者として、南赤井一班竹内浩さんが表彰されました。

# 市長へ支援の要請

平成二十七年七月二十七日、東松島市役所を訪問し、阿部市長に対して、高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組むシルバー人材センターへの支援の要望を行いました。

当日は、センターから齋藤理事長、伊藤副理事長、奥田事務局長が出席し、東松島市からは阿部市長、小野産業部長、山縣商工観光課長が出席いたしました。

齋藤理事長から要望書を阿部市長に手渡した後、阿部市長からは「シルバー人材センターの事業は十分理解している。これまで経費削減のために行革を進めてきたことも理解している。今後の超高齢化社会には絶対必要な事業であることから、今後も支援して行く。」との大変有り難い言葉を賜りました。



平成27年10月21日 竹内浩さん表彰

おめでとうございます。



## 平成27年度お客様アンケート調査報告

この調査は、当センターをご利用いただいたお客様から仕事等に関するご意見を伺い、今後の業務内容の改善・充実と就業開拓に活かし、お客様の満足度の向上と業務の拡大を図るために実施いたしました。

この結果をもとに、お客様の満足度向上を目指し努力してまいります。

- 調査実施期間：平成27年6月8日～11月19日
- 調査対象者：平成27年4月～11月までの利用者を無作為に選択
- 調査方法：職員が個別訪問し質問に対する回答の形式で実施
- 回答者数：100名
- 職種別件数：

植木剪定 18件	草刈り 17件	草取り 15件	農作業 10件	障子張り 6件
大工工事 5件	塗装 4件	出張床屋 4件	網戸張り 3件	その他 18件

この調査は、簡単なアンケート用紙を使い、質問に対する回答形式で行いました。お客様の仕事に対する満足度、会員の就業態度、また頼みたいか等についての結果をお知らせいたします。

◎仕事に対する満足度は、満足が80件、普通が19件、不満が1件でした。不満をなくすように頑張りましょう。

◎会員の就業態度は、良いが81件、普通が19件、悪いが1件となっております。悪いをなくすように努力してまいりましょう。特にお客様から声をかけられたら、笑顔でしっかり応対しましょう。

◎また頼みたいかは、頼みたいが95件、検討する5件、頼まないはなく、非常に良い結果でした。今後も頼まないと言われないように誠実に仕事を行いましょ。

### お客様からの主なご意見

☆本当に助かっています。細かいところまできれいにして頂いてありがたく思っています。  
(草取り)

☆出張床屋はとても助かります。会員さんとの話も楽しいです。(出張床屋)

☆満足です。まじめにテキパキときれいにしてもらい本当に感謝しています。(草刈り)

☆シルバーさんが一番良いですね。後片付けもきちんとしてくれる。(植木)

☆会員さんの対応が良く、仕上がりにも満足しています。(障子張り)

☆大変助かっています。ずっと利用して行きたいと思っています。(農作業)

☆メンバー変わると初めから説明しなければならぬので面倒。(草取り)

☆もう少し丁寧に(窓ふき)



## 平成27年度会員就業意向調査報告

この調査は、当センターの会員から就業に関する意向を聞き、今後の事業運営の参考にするために実施いたしました。この調査結果をもとに、会員がより就業しやすい環境、制度づくりに努めてまいります。

- 調査実施期間：平成27年9月24日～10月16日
- 調査対象者：調査時点で会員として登録している者
- 調査方法：アンケート用紙による無記名回答
- 回答者数：185名（回収率64%）

地区	矢本	大曲	小松	赤井	大塩	鳴瀬	全体
送付数	77	40	26	42	26	78	288
回答数	50	34	26	25	14	36	185
回収率	65	85	100	60	54	46	64

### ★調査結果

① センターの会員を続けている理由は次のうちどれですか。

項目	件数	比率	項目	件数	比率
体や健康のため	105	36.4	他に仕事が見つからないから	1	0.3
生きがいづくりのため	44	15.3	時間をもてあましているから	13	4.5
家計を補うため	37	12.8	家にいたくないから	5	1.7
仲間がいるから	32	11.1	その他	2	0.6
経験や能力を活かせるから	16	5.5			
社会参加の喜びを得るため	34	11.8	合計	288	100

② 1ヶ月に何日くらい働きたいですか。

項目	件数	比率
1～5日	38	20.8
6～10日	48	26.2
11～15日	66	36.1
16日以上	31	16.9
合計	183	100

③ 1日何時間くらい働きたいですか。

項目	件数	比率
1～2時間	25	13.7
3～4時間	55	30.0
5～6時間	97	53.0
7時間以上	6	3.3
合計	183	100

④ 1ヶ月にどれくらい配分金が貰えるといいですか。

項目	件数	比率
3万円くらい	55	30.7
5万円くらい	66	36.9
8万円くらい	48	26.8
10万円以上	10	5.6
合計	179	100

⑤ 過去1年間でセンターの仕事をしましたか。

項目	件数	比率
した	166	90.2
しない	18	9.8
合計	184	100

⑥ ⑤で「しない」と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。(複数回答可)

項 目	件 数	比 率
仕事の斡旋がないため	5	27.8
センター以外で就職をしていたため	4	22.2
健康上の理由	3	16.6
希望した仕事がないため	0	0
家庭の事情のため	4	22.2
前の会社から仕事の誘いがあった	1	5.6
就業意欲がなくなった	1	5.6
合 計	18	100

⑦ これまで作業中に危険を感じたことはありますか。

項 目	件 数	比 率
ある	49	26.8
ない	134	73.2
合 計	183	100

⑧ ⑦で「ある」と答えた方にお聞きします。どのような場面で危険を感じましたか。(複数回答可)

項 目	件 数	比 率
作業現場の凸凹や段差などの足場の悪いところ	17	21.5
機械等を使用するとき	5	6.3
高い場所で作業をするとき	9	11.4
雑木林や岩場など害虫や蛇がいそうなところ	4	5.1
急いで仕事をしなければならぬとき	7	8.9
交通量の多いところ	8	10.1
人や車が急に道路に出てきたとき	7	8.9
斜面が急な場所の草刈	16	20.2
重い物の片付け	2	2.5
その他	4	5.1
合 計	79	100

※その他の内容

- ・ 仕事仲間があまりに危険な仕事をするため。 ・ つた、ウルシ、虫さされ。
- ・ 草集めの時、フォークを地面に置いている。非常に危険である。立てておいた方が目につくと思う。
- ・ 蜂や毛虫にさされた。

⑨ ワンコインサービス事業を実施した場合、協力できますか。

項 目	件 数	比 率
できる	59	33.7
ものによってはできる	68	38.9
できない	48	27.4
合 計	175	100

⑩ ワンコインサービス事業の会員として登録しますか。

項 目	件 数	比 率
する	98	57.3
しない	73	42.7
合 計	171	100

⑪ センターに入会して満足していますか。

項 目	件 数	比 率
満足	57	31.3
まあ満足	32	17.6
普通	85	46.7
やや不満	5	2.7
不満	3	1.7
合 計	182	100

❖ 就業意向調査結果のまとめ ❖

平成26年度は回収率44%でしたが、本年度は64%と前年度より20%上昇しております。地区別で見ると小松地区が100%、次いで大曲地区が85%と高く、鳴瀬地区が46%と唯一50%を下回っております。小松・大曲地区は前年度においても回収率が高く、両地区の地域班長のセンターに対する協力する姿勢が高く評価されます。

センターに入会している理由として、「体や健康のため」が、36%（前年度35%）と全体の3分の1以上を占め、更に「生きがいくりのため」、「社会参加の喜びを得るため」との回答が多く、センターの意義が十分反映された回答となっております。

「家計を補うため」の回答も13%（前年度10%）ありました。最近の入会の動機も「健康的」の次に「経済的」が多く、会員の就業意欲は「経済的」という理由が増えているようです。今回の調査でも、1か月の配分金の希望額も「8万円から10万円以上」が前年度の27%から32%と5%上昇しております。

今回の調査時点で、未就業会員が18名（約10%）となっており、就業の促進を図る必要があります。特にセンターの業務は夏場の時期が多く、そして屋外作業に集中していることから、外仕事以外を希望している会員のためには、屋内作業等の新たな就業の場の提供が必要となっております。

また、安全就業についても大きな課題です。「これまで作業中に危険を感じたことがありますか」の質問に27%の方が「ある」と回答しております。特に今回の回答で多かったのは、「作業現場の凸凹や段差などの足場の悪いところ」17名、「斜面が急な場所の草刈り」16名となっており、山間地等平地以外での草刈り作業を、多くの会員が危険と感じて作業をしており、安全対策を検討し、安全就業の徹底を図る必要があると思われれます。

「ワンコインサービス事業を実施した場合、作業する会員として登録しますか」には98名の会員が登録すると回答していることから、実施する方向で、課題、問題点を整理し、検討してまいります。

「センターに入会して満足していますか」の問いには、「満足(57件)・まあ満足(32件)」が49%と、前年度の58%から9%下がっております。今後、1人でも多くの会員がセンターに入会して「満足」と感じてもらえるように取り組んで行く必要があります。

また、意見・要望等は12件ありました。今後の事業運営に活かしてまいります。

### 新春懇親会の開催

平成二十七年一月二十五日に、「震災に負けずたまたまか！ 頑張っぺし！」と、震災後三回目となる新春懇親会を開催いたしました。来賓として東松島市長阿部秀保様、東松島市議会議長滝健一様、宮城県議会議長渥美巖様の出席をいただき、会員・事務局四十七名が出席して懇親を行い、親睦を深めました。

座興では、歌、踊りと会員が次々に出し物を繰り出し、大いに盛り上がり、本当に楽しく、震災の悲しいでき事を忘れる一日となりました。



### 平成二十七年度定時総会及び

### 互助会設立総会の開催

平成二十七年度の定時総会が五月二十七日に小野市民センターにおいて開催されました。総会には会員数二八九名中、本人出席九五名、書面出席一三一名の出席のもと、小松班の松浦正義会員が議長に選任され、



議案については、全て満場一致で承認されました。また、定時総会終了後、

互助会設立総会が開催されました。会の名称を「公益社団法人東松島市シルバー人材センター互助会」に決定し、会則、事業計画等提案された議案全てが満場一致で承認されました。また、役員には次の方々を選任されました。

- 会長 伊藤 隆 北赤井班
- 副会長 伊藤 宏 小野二班
- 庶務会計 松浦正義 小松班
- 幹事 中井輝雄 上町班
- 幹事 小野 敏 下町二班
- 幹事 高橋勝榮 上下堤班
- 監事 五野井憲 上納横沼班
- 監事 小野邦昭 宮戸班

### 互助会活動スタート!

本年度設立された互助会は、会員の入会が見込んだよりかなり少なく、計画した事業を全て行うことが難しい、非常に厳しいスタートとなりましたが、互助会での視察研修旅行の実施、同好会活動でも、カラオケ・旅行・パークゴルフ・ニュースポーツの四グループが活

動を行っております。また、八十歳（傘寿）に達した会員二名に長寿祝い金を贈っております。今後も会員相互の親睦と融和を図り、明るく楽しい互助会を目指してまいりますので、未入会の会員の皆さんは、ぜひ入会されますようお願いいたします。

### 「シルバーの日」

### 普及啓発と清掃奉仕活動を実施

「全国一斉シルバーの日」である十月十七日(土)に、会員八十一名が参加し、普及啓発活動と清掃奉仕活動を実施しました。

普及啓発活動として、市内大型店二カ所で買い物客に声掛けし、チラシ・ポケットティッシュ等を配付して、シルバー人材センターの存在をアピールし、普及啓発と会員の勧誘に努めました。清掃奉仕活動では、市役

所、鳴瀬庁舎を中心とした公共施設と、周辺の道路のゴミ・空き缶などを拾い集め、環境美化に努めました。また、本年は歩道の草取りも行いました。

参加した会員は、一生懸命、普及啓発活動と清掃奉仕活動に努めました。



### 互助会視察研修旅行の実施

本年から互助会事業とし、昨年に引き続き鳴子温泉に一泊旅行を実施いたしました。

来年も計画をしますので、多くの会員の参加をお待ちしております。

当日の十一月二十三日はあいにくの雨で、予定していた有備館の見学はできませんでしたが、参加者二十六名はバスの中で楽しく懇談をしております。

午後三時頃に鳴子温泉の旅館に到着、各部屋ごとに懇談、温泉につかり日頃の疲れを癒しました。



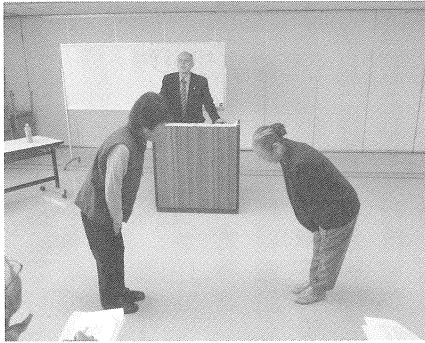


## 講習会

障子張り・料理・接遇・交通安全・草刈機技能・草取り・植木剪定・ハウスクリーニング・普通救命を開催しました。

### ③接遇講習会

(4月10日/会員37名参加)  
講師：(公財)ふくしま自治研修センター名誉教授鈴木常夫氏



### ②料理講習会

(2月24日/会員19名参加)  
講師：東松島市健康推進課鶴飼その子氏



### ①障子張り講習会

(1月13日/会員9名参加)  
講師：土井利三会員



### ⑥草取り講習会

(4月22日/草取り班会員20名)  
講師：奥田家寿子会員



### ⑤草刈機技能講習会

(4月21日/草刈班会員34名参加)  
講師：やまびこ東北(株)菅野氏・山火氏



### ④交通安全講習会

(4月17日/会員23名参加)  
講師：石巻警察署交際課交通指導係長浅野和志氏。



### ⑨救急救命講習会

(11月11日/会員22名参加)  
講師：矢本消防署日野氏ほか矢本消防職員



### ⑧ハウスクリーニング講習会

(6月11日/清掃作業従事会員9名参加)  
講師：(有)サンリク秋山ゆき氏



### ⑦植木剪定講習会

(5月19日/植木班会員10名、一般会員4名参加)  
講師：県立大崎高等技術専門学校造園科講師佐藤仁氏



## 草取り班の活動

本年度から除草班を草刈班と草取り班に分割し、それぞれ活動しておりますが、今回は草取り班の2班の班長、1班の副班長から投稿をいただきましたので、掲載いたしました。

また、班になって初めての講習会も、参加者が20人と多く、矢本華の園様の花壇をお借りして行いましたが、講習会を兼ねたボランティア活動となり、矢本華の園様には大変喜んでいただき、来年以降も継続して行っていきたいと思います。

### 草取り班の副班長になって

草取り班一班 副班長

内海 美智子

今年から副班長を任せて頂き、色々な事が有りまして。新規のお客様に電話をして、地図を見ながら現場の下見に行き、作業範囲を確認したり、時には家が分からず、うろうろすることもありました。

現場ではお客様に仲間と一緒に挨拶をしてから草取りを開始します。「今日は暑いから、水分補給して下さいね。」と言われると、思いやりに感謝し頑張ろうという気持ちになります。

帰りに「お陰様でいいにしてもらいますね。」と喜んで頂くと、仕事の疲れもなくなります。

暑い日が続いても熱中症を発生し草取りをしました。

また、草取り講習会を開催してもらい、講師の奥田家寿子さんから、鎌の使い方と草取りを指導してもらい、大勢の人達と草取りをし、コミュニケーションを図りました。

これからも一層お客様に満足して頂けるように頑張ります。

### 草取り班の班長になって

草取り班二班 班長

丹野 美代子

草取り班二班の班長として命じられ、戸惑いながらも、草取りのシーズンを終えることができました。

今までは草取りに参加しているだけでしたが、草取り班編成、グループ就業の大変さを知りました。

センター業務担当の方から連絡を頂き、班員との日

時の調整、予定人員の確保、場所の下見、初めての所は地図とのにらめっこ、遠い現場への移動手段等を確認

しますが、一番頭が痛いのは天候です。早朝より玄関を出たり入ったりで、露程度、だと思いきや現場に着くと、どしゃ降りになったり、雨

なので早朝中止の電話連絡すると晴れたり、予定がずれて作業効率が悪くなって、依頼者への対応に手数をかけてしまい、とても不安に

なりました。

今年猛暑だったので、熱中症等にも気をつけながら皆さんにご協力、助言を頂き、なんとかできました。お客様が作業の終わった後を見て喜んで下さると、又頑張ろうと思えます。

草取り班員が減少しておりますので、一人でも多く班に加入して頂きたいです。今後皆さんのご指導を頂きながら健康で楽しく働く事ができればと思えます。

## 視察研修で相次ぐ来訪

十月二十八日に福島県須賀川市シルバー人材センター

から「安全適正就業の推進と技術技能研修事業」について、理事長、安全管理委員等十二名が視察研修で来訪いたしました。

当センターの安全対策の状況と講習会の開催状況等を説明した後、意見交換を行いました。非常に熱心で活発な意見をいただき、当センターとしても大変参考になりました。

十一月九日には山形県東根市シルバー人材センターから「事業の運営全般、新たな職域班活動、契約拡大



東根市視察研修

と入会促進等」について、理事長、役員等十四名が視察研修で来訪いたしました。

東根市は、東松島市とは以前から交流があったことから、震災直後から、東松島市に継続して支援をいただいております。

その様な関係から、午前中、二時間研修、意見交換を行い、昼食後、齋藤理事長の案内で被災した野蒜海岸、高台へのまちづくり、新野蒜駅、新東名駅等を視察しました。津波の凄さ恐ろしさを痛感し、また、市民の復興への熱い思いを感じられたようです。



須賀川市視察研修

# 事務局からのお知らせ

「年金現況届」等の記入及びそれ以外の  
様々な書類等への記入上の注意

皆様が毎年提出している年金等の現況届等の中に「職業」という欄がありま  
すが決して「東松島市シル  
バー人材センター」もしく  
は就業先の会社名を記入し  
ないでください。又それ以  
外の様々な書類等も同様で  
す。

皆様は、雇用によってシ  
ルバー人材センターに雇わ  
れたものではありません。自  
分自身の意思により入会、

会員登録し臨時的・短期的  
な就業をしているので、そ  
の様な職業欄に記載すると  
きは「無職」となります。  
記入を間違えますと、社会  
保険事務所から事務局に対  
し様々な指摘を受けるばか  
りか、各関係機関にご迷惑  
がかかります。注意してい  
ただきますようお願いいた  
します。詳しくは事務局ま  
でご相談ください。

## 事業実施報告

(平成27年4月～平成27年11月末累計)

( )内は前年対比

会 員 数	288名	(112%)
受 託 件 数	2,000件	(112%)
契 約 金 額	9,687万円	(110%)
就 業 延 人 員	22,488人	(108%)
就 業 率	91.7%	(100%)



## 会員の動向

### 新会員の紹介

☆平成二十七年四月

(敬称略)

- 氏家 利男 小野二班
- 武田 豊治 下町二班
- 入部 弘 南赤井二班
- 佐藤 進 小松班
- 大沼美恵子 東名班
- 高橋恵美子 浅井中下班
- 高村 仁司 上町班
- 葛西 城夫 下町一班
- 川名 敏公 南赤井二班
- 那須野留造 貝田筒場班
- 佐々木正男 貝田筒場班
- 佐藤 光代 下町二班
- 渋谷 純 大塩班
- 尾形 正勝 浅井中下班
- 山村 幸一 上下堤班
- 亀山多恵子 南赤井二班
- 渋谷 正義 小野一班
- 西郷 康雄 小野一班
- 佐藤 康孝 東名班
- 奥田 正治 上町班

☆平成二十七年五月

- 福島 孝 南赤井二班
- 高橋 孝喜 貝田筒場班
- 尾形 敏子 立沼道地班
- 安積 恵子 立沼道地班
- 松岡笑美子 貝田筒場班

☆平成二十七年六月

- 伊澤 寛 小野一班
- 内海 孝一 浅井中下班
- 佐藤キミ子 下町二班
- 佐々木 豊 浅井中下班

☆平成二十七年七月

- 大槻さみ子 大溜班
- 安積 秀敏 下町一班
- 菊地 篤 小野二班
- 後藤 正雄 上町班
- 安住 司 南赤井一班

☆平成二十七年八月

- 橘川 博美 小野一班
- 神山 健一 大溜班

☆平成二十七年九月

- 木村かづ子 大塩班
- 加藤 勝信 下町一班
- 三浦 孝志 下町二班
- 高橋 信子 貝田筒場班

☆平成二十七年十月

- 二瓶 静子 上納横沼班
- 千葉喜志子 上納横沼班

### 退会された方々

(敬称略)

☆平成二十七年二月

- 遠藤敬三郎 南赤井一班
- 佐藤たむ子 立沼道地班
- 千葉 光子 上納横沼班

☆平成二十七年三月

- 蛇石貴美子 貝田筒場班
- 木村 清勝 関の内二班
- 菅原 和夫 亀岡洲崎班

☆平成二十七年八月

- 及川 正 上納横沼班

☆平成二十七年九月

- 内海 義信 小松班
- 阿部 國夫 上納横沼班
- 渡邊もと子 下町一班

☆平成二十七年十一月

- 菊地 順一 小野二班

☆平成二十七年四月

- 石川 武志 大塩班

☆平成二十七年五月

- 斎藤 正 下町一班
- 尾形 悦子 宮戸班
- 千葉 忠吉 上納横沼班
- 藤井 俊郎 貝田筒場班
- 高橋夕力子 小野一班
- 本間智嘉子 小野二班

☆平成二十七年六月

- 神田 輝明 大溜班
- 佐々木絹子 小野二班

☆平成二十七年七月

- 佐藤 和雄 上納横沼班
- 佐藤 松雄 亀岡洲崎班
- 熊谷 司 南赤井二班
- 今井 健治 南赤井二班
- 菅原 勝治 下町一班
- 高田 武弘 上納横沼班
- 遠藤 輝夫 小松班

## 賛助会員のご紹介

当センター事業目的にご賛同いただき、事業にご協力いただける市内の企業・団体の皆様方に、下記のとおり賛助会員として加入いただいておりますので、ご紹介を致します。

<p><b>有限会社 ヤモト製版</b> 〒981-0505 大塩字中沢上57 ☎82-2591</p>	<p><b>株式会社 いしがき金物店</b> 〒981-0503 矢本字河戸11 ☎82-3122</p>
<p><b>有限会社 佐藤建設</b> 〒981-0505 大塩字清水沢15-1 ☎82-8802</p>	<p><b>有限会社 千葉岩材工業</b> 〒981-0413 新東名4丁目8-8 ☎88-3949</p>
<p><b>奥州物産運輸 株式会社</b> 〒981-0504 小松字上二間堀176 ☎82-5211</p>	<p><b>有限会社 ケーシー・スクエア</b> 〒981-0301 牛網字東牛坂107-1 ☎86-1553</p>
<p><b>医療法人医徳会 真壁病院</b> 〒981-0503 矢本字鹿石前109-4 ☎82-7111</p>	<p><b>医療法人社団百毫会 藤野整形外科</b> 〒981-0503 矢本字大溜25-1 ☎83-2121</p>
<p><b>株式会社 石巻青果</b> 〒981-0501 赤井字南三242-1 ☎83-6111</p>	<p><b>有限会社 鳴瀬島山自動車</b> 〒981-0303 小野字中央2-2 ☎87-3818</p>
<p><b>有限会社 丸石運輸</b> 〒981-0503 矢本字作田浦191-1 ☎82-6511</p>	<p><b>カネフジ運輸 株式会社</b> 〒981-0502 大曲字下台128-121 ☎82-7878</p>
<p><b>大勇堂</b> 〒981-0503 矢本字蜂谷浦25 ☎82-2074</p>	<p><b>同心興業 株式会社</b> 〒981-0504 小松字上砂田40-1 ☎82-5137</p>
<p><b>有限会社 津野商会</b> 〒981-0505 大塩字大島沖下5-2 ☎82-8783</p>	<p><b>株式会社 おいかわ</b> 〒981-0503 矢本字栄町41 ☎82-2309</p>
<p><b>石巻信用金庫矢本支店</b> 〒981-0503 矢本字上新沼21-2 ☎82-2335</p>	<p><b>株式会社 尾形土建</b> 〒981-0411 野蒜字山崎13-2 ☎88-2147</p>
<p><b>有限会社 阿部産業</b> 〒981-0503 矢本字上河戸192-2 ☎82-6226</p>	<p><b>☆賛助会員募集中☆</b> センター事業を理解していただける、市内の企業・団体を募集しています。</p>

### 編集後記

今回の「シルバーだより」発刊にあたっては、委嘱された八名が昨年十一月中旬、編集会議でスタートさせ、最終の校正作業まで短期間でしたが傾注し、試行錯誤の末、どうにか発刊することができました。

市長さん始めご寄稿いただいた皆様に感謝申し上げます。

広報部会では、センター事業の更なる運営発展の為、普及啓発活動の推進として、会員増強に努めることで地域のニーズに対応でき、就業機会の拡大が図られるものと期待しています。

会員の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

(伊藤)

編集委員長 伊藤 宏  
編集委員 尾形 俊文

” ” ” ” ” ”  
三浦サイ子 佐々木善吾  
鈴木 力 高橋 勝榮  
松浦 正義 小林 世明